

事業所名

サンクスラボ・アフタースクール那覇

支援プログラム(参考様式)

作成日

7 年

3 月

31 日

<p>法人(事業所)理念</p>	<p>グランドビジョン Ground Vision 理想とする社会の象徴大きなビジョンであり世界観 「誰もが可能性を感じ合える社会へ」</p> <p>バリュー Value 社会・地域・顧客・タレント・パートナー・チーム・自分への提供価値 「期待を超えた、可能性への気づき」</p> <p>無限クレド Mugen Credo 大切に考える方や働き方(行動方針) 「∞クレド」</p> <p>スローガン Slogan 楽しむために、超えていこう 「Beyondjoy(ビヨンジョイ)」 ※Beyond(超える)とEnjoy(楽しむ)の造語 不安なとき、どうにかしたいとき、もっとやれそうなときの合言葉</p>											
<p>支援方針</p>	<p>(1)当事業所は、障害児(以下「利用者」という。)、障害児の保護者(以下「通所給付決定保護者」という。)及び利用者の家族(以下総称して「利用者等」という。)の意志及び人権尊重し、常にその立場に立って支援を提供する。 (2)事業所は、利用者が生活能力の向上のために必要な訓練を行い、及び社会との交流を図ることができるよう、利用者の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境にして適切かつ効果的な指導及び訓練を行うものとする。 (3)当事業所は、地域及び家庭との結び付きを重視し、関係機関等との密接な連携に努めるものとする。</p>											
<p>営業時間</p>	<table border="1"> <tr> <td>平日</td> <td>9時</td> <td>30分</td> <td>18時</td> <td>30分</td> </tr> <tr> <td>学校休業日</td> <td>9時</td> <td>00分</td> <td>18時</td> <td>00分</td> </tr> </table>	平日	9時	30分	18時	30分	学校休業日	9時	00分	18時	00分	<p>送迎実施の有無</p> <p>あり</p>
平日	9時	30分	18時	30分								
学校休業日	9時	00分	18時	00分								
<p>支援内容</p>												
<p>本人支援</p>	<p><b>健康・生活</b> クッキング活動などの食育を提供して児童の健康な心身の成長を支援していき、日々の生活の中で健康で安全な生活が送れるように支援を実施していきます。また、意思表示が困難である児童の特性および発達過程に配慮し小さなサインから心身の異変に気づけるようきめ細やかな療育を実施していきます。</p> <p><b>運動・感覚</b> 発達の土台である運動機能全般の能力向上を目指して理学療法士や運動療育の経験がある児童指導員による専門的な支援を実施していきます。主に、姿勢の改善・手足を思い通りに動かせる・バラス力の向上など日常生活の基本動作能力の発達を支援していきます。運動遊びを通して、達成感や運動の楽しさを実感できるようにスモールステップで実施していき、一人一人の児童に合わせて個別または集団での運動療育を提供していきます。</p> <p><b>認知・行動</b> 児童一人一人の認知の特性を理解しそれを踏まえた上で日々の療育を通して感覚機能(視覚、聴覚、触覚)、認知機能(形、音、色、大小、数、空間、時間)の発達を促していく支援を行っていく。また、感覚や認知の偏りによって生ずるコミュニケーションの困難性及び行動障害に対してそれぞれの児童に合わせて柔軟な対応の支援を行っていく。</p> <p><b>言語コミュニケーション</b> 職員や他児童との関わりを通して、場面における正しい言葉を選び言語理解・自発的な発語等の獲得を含めたコミュニケーション能力の向上の為に支援を行っていきます。また、SST(ソーシャルスキルトレーニング)を取り入れて環境の理解と意思の伝達、障害特性に応じた読み書き能力の向上の為に支援を行い、社会の中で自分らしく暮らしていくためのスキルの獲得を目指します。</p> <p><b>人間関係社会性</b> 活動や遊び等を通して人との関係を意識し社会性や対人関係の芽生えを促していく支援を提供していきます。周囲に無関心で一人遊びが多い児童に対して無理のない範囲で職員が介入した集団遊びからルールを守って遊ぶ児童だけの共同遊びへの移行を徐々に促していく支援を行います。また、出来る事、出来ない事などを理解し、自分の気持ちや情動調整が出来るように児童一人一人と向き合って支援を行っていきます。</p>											
<p>家族支援</p>	<p>ご家族が安心して子育てをすることができるよう以下の取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・家族の子育てに関する困りごとに対する相談援助</li> <li>・子どもの発達上のニーズについての気づきの促しとその後の支援</li> <li>・子どもの支え方や食事のとり方等の具体的な介助方法についての助言・提案</li> <li>・保護者同士の交流の機会の提供</li> <li>・きょうだい同士の交流の機会の提供やきょうだいに対する相談援助</li> <li>・家族に対する支援場面を通じた学びの機会の提供</li> </ul>	<p>移行支援</p> <p>同年代の子どもをはじめとした地域の仲間と繋がりがながら、多様な学習・体験・活動ができるよう以下の取り組みを行います。 【成長に伴う事業所等への移行支援、ライフステージの切替えを見据えた将来的な移行に向けた準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的な移行や将来的な移行を見据えた子どもの発達の支援</li> <li>・具体的な移行先との調整</li> <li>・移行先との支援方針・支援内容の共有や、子どもの状態・親の意向・支援方法についての伝達</li> <li>・家族への情報提供や移行先の見学調整</li> <li>・移行先の受け入れ体制づくりへの協力</li> <li>・移行先への相談援助</li> <li>・進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助</li> <li>・併行利用の場合の利用日数や利用時間等の調整</li> </ul> <p>【同年代の子どもをはじめとした地域における仲間づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の子育て支援サークル、児童館、地域住民との交流</li> </ul>										
<p>地域支援・地域連携</p>	<p>子どもの育ちや家庭の生活の支援に関わる保健・医療・福祉・教育・労働等の関係機関や障害福祉サービス等事業所等と連携して子どもや家族を支援するため、以下の取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子どもが通う保育所・学校、放課後児童クラブ等との情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助、放課後等デイサービス計画(児童発達支援計画)の作成又は見直しに関する会議の開催</li> <li>・子どもに支援を行う発達障害者支援センターや地域生活支援拠点等との連携</li> <li>・子どもが利用する障害児相談支援事業所や障害福祉サービス事業所、他の障害児通所支援事業所との生活支援や発達支援における連携</li> <li>・虐待が疑われる場合には、児童相談所や子ども家庭センターとの情報連携</li> <li>・児童委員、主任児童委員等地域の関係者等との連携</li> <li>・個別のケース検討のための会議への参加</li> </ul>	<p>職員の質の向上</p> <p>支援に関わる人材の知識技術を高めるため以下の取り組みを行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・社内及び社外自治体や障害児支援団体が実施する研修への参加</li> <li>・事業所内にて参考図書を整備等</li> <li>・事業所内での研修会及び勉強会</li> </ul>										
<p>主な行事等</p>	<p>4月:進級式、春の遠足 5:月子供の日、母の日 6月:父の日、平和学習 7月七夕、クッキング(カレー作り等)8月:プール、夏休みビーチ遊びなど9月:敬老の日、お月見 10月:体育遊び ハロウィンパーティー 11月:お芋ほり 12月:Xmasパーティー、子ども忘年会 1月:初詣、ムーチ作り、お正月遊び(凧あげ等) 2月:節分豆まき、バレンタインチョコ作り 3月:ひな祭りパーティー、卒業お別れ会</p>											